

古本回収による「福祉図書室おおすぎ」



【大杉学区】

■世帯数：2,904 世帯

■人 口：6,202 人

■面 積：0.612k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- 学区内で不要になった古本を回収し、大杉小学校において約 1 万 2 千冊を並べ福祉図書室を開設。お茶などの飲み物も提供し、地域の憩いの場として活用している。
- 毎週日曜日の午前 11 時～午後 4 時までを開放時間とし、本の貸し出しも行っている。また、古本の回収も開放日に合わせて行っている。
- 古本のクリーニングおよびブックカバー掛けは、NPO、知的障がい者施設の協力を得ている。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧

【アピールポイント】

古本のリサイクルを通じて、資源の再活用に貢献している。

2 きっかけ、背景

資源回収に出される本を見て、“まだ読めるのにもったいない”と感じたことがきっかけ。古本のリサイクルを通じて、学区住民の資源に対する意識の向上を図る。また、本のクリーニングやカバー掛けが縁となり、敬老会の記念品を購入するなど障がい者施設への支援にもつながっている。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、学区連絡協議会共栄会 計約 15 人

(2) 他団体との協力

福祉推進協議会、知的障がい者施設ユニオンワークス、学区連絡協議会

(3) 運営協力

学区連絡協議会共栄会（元区政協力委員）に運営協力を依頼している。

4 実施のスケジュール

H23 年～ 古本回収



H24 年 7 月～ 回収した古本の搬入



8 月 19 日 福祉図書館開所



5 成果と課題

(1) 成果・効果

利用者から「図書館が遠いので近くにできて助かる。」との声がある。

(2) 苦労した点

住民の理解を得ること。全くお金を掛けず、全て手作りで準備を行ったため、夏の暑い時期に部屋の掃除や本を並べることが大変だった。

(3) 今後の課題・展望

運営の協力者の確保、活動の継続が今後の課題。

